

友好都市提携について

1. ペルー共和国ウルバンバ郡の概要

ペルー共和国のクスコ県に位置し、ウルバンバ、チンチェロ、ワイリャバンバ、マチュピチュ、マラス、オリヤンタイタンボ、ユカイマチュピチュの7つの行政区から構成されている。

同郡のウルバンバ渓谷には世界遺産である「マチュピチュの歴史保護区」をはじめとする主要なインカ帝国の遺跡がある。

また、農業に適した土壌を有していることから、インカ時代にはトウモロコシ栽培が始まり現在も盛んに行われている。

人口は56,685人(2007年国勢調査)



観光名所としては、マチュピチュ遺跡が有名である。標高2,280mの頂上にあるインカ帝国時代の遺跡であり、山裾からはその存在を確認できないため「空中都市」と呼ばれている。総面積は5平方キロメートルで、その約半分の斜面には段々畑が広がり、西の市街区は神殿や宮殿、居住区などに分かれ、周囲は城壁で固められている。1911年にアメリカ人歴史学者に発見され、1983年に自然・文化を兼ね備えた複合遺産としてユネスコの世界遺産に登録された。

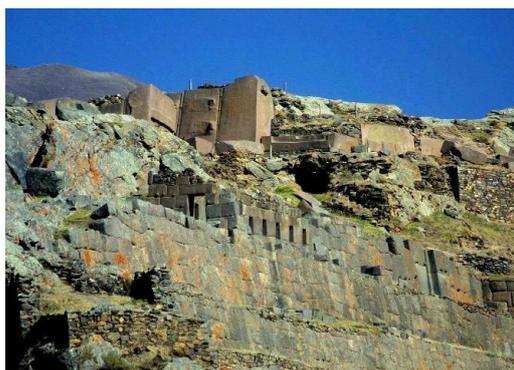


マチュピチュ遺跡の全景



太陽の神殿(マチュピチュ遺跡内)

また、同じくインカ帝国時代の遺跡であるオリヤンタイタンボ遺跡は、川岸の平地と急な斜面に建築物が築かれており、インカの都市建設の主な特徴を備えている。



オリヤンタイタンボ遺跡の壁面



農村風景

2. 経緯

- ・平成21年11月 駐日ペルー共和国大使が、ペルー共和国内の都市との友好都市提携について高山市へ打診
- ・平成23年4月 駐日ペルー共和国大使が、ウルバンバ郡との友好都市提携について高山市へ提案
- ・平成23年5月 ウルバンバ郡長が高山市との友好都市交流について話し合いを開始することを承諾した旨の書簡を駐日ペルー共和国大使から受領
- ・平成23年6月 高山市議会本会議での質問に対して、高山市としてウルバンバ郡との友好都市交流を推進したい旨答弁
高山市議会総務企画委員会においてウルバンバ郡との友好都市交流について説明
- ・平成23年10月 高山市議会総務企画委員会へ、高山市長のウルバンバ郡への訪問及び今後の友好都市交流推進に関する覚書締結について説明
ウルバンバ郡において、高山市長とウルバンバ郡長が、友好都市交流に関する覚書に署名
- ・平成23年12月 高山市議会本会議において、高山市長がウルバンバ郡を訪問し高山市とウルバンバ郡との友好都市交流推進について覚書を締結したことを報告
- ・平成24年10月 高山市において、高山市長とウルバンバ郡長が、可能な限り早い時期に友好都市提携を締結することについての確認書に署名
- ・平成24年12月 高山市議会本会議において、高山市とウルバンバ郡とが早い時期に友好都市提携を締結することについて確認したことを報告